

# 今冬における高齢者施設・障害者施設の職員への集中的検査（案）

※令和4年11月 第312回定例会に補正予算案として提出予定。

## 目的

今冬は、新型コロナと季節性インフルエンザの同時流行による発熱患者の急増が懸念されることから、高齢者施設・障害者施設へ抗原定性検査キットを配布し、施設職員の検査を集中的に実施することで、陽性を把握し、施設利用者への感染拡大を防止する。

## 検査対象者

県内（青森市及び八戸市を除く。）の高齢者施設及び障害者施設の職員（合計約3,700カ所※、約53,000人） ※ 事業サービス数

- 高齢者施設 約2,200カ所※
- 障害者施設 約1,500カ所※

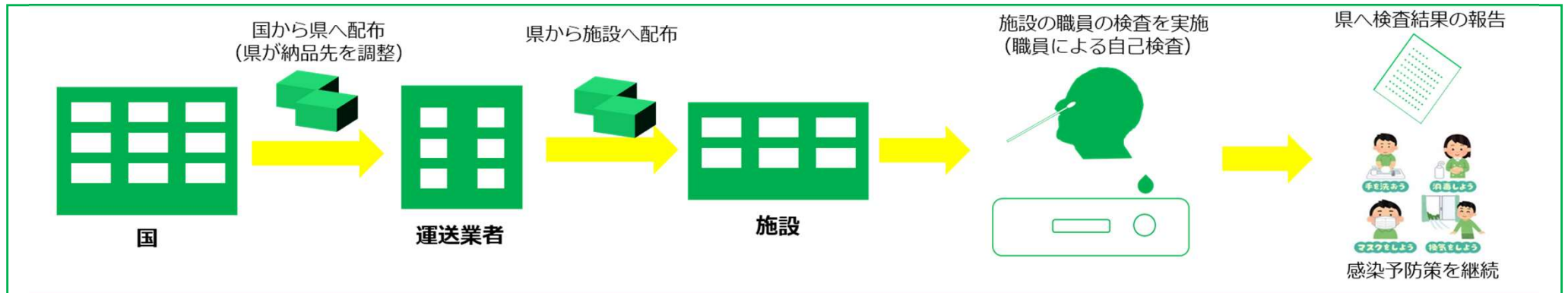
★ 集中的検査は、県・各中核市がそれぞれ集中的実施計画を策定して実施するものであり、県・青森市・八戸市それぞれが12月に検査を実施する予定。

## 実施内容

- ・ 県から、入所系、通所系及び訪問系の高齢者施設・障害者施設へ抗原検査キットを配布する。  
※今回、8月実施時の対象施設の他、**訪問系事業所を新たに追加**。（約1,400カ所※、約15,200人）  
※県保健所の業務負担軽減を図るため、運送業者により検査キットを配送。
- ・ 各施設は、抗原定性検査キットを受領後、12月・1月・2月中に全24回の検査を職員に対して実施する（自己検査）。
- ・ 各施設は、各月の検査状況を県へ報告する。（報告方法等は別途お知らせ。）

## 留意事項

- ・ 本検査で陽性となった際には、当該施設においては、勤務シフトの調整等、組織的な対応を実施する。
- ・ なお、本検査結果は、陰性が証明されていることではないことに留意する。



【参考】 高齢者施設・障害者施設の職員への集中的検査（令和4年8月実施）の実施状況

- 高齢者施設等での感染拡大防止を図るため、県内の高齢者施設及び障害者施設の職員（約53,000人）を対象として、抗原定性検査キットを配布する集中的検査を実施。（8月中旬から8月末まで）
- その結果、延べ145,102人が検査を実施し、**1,018人**の陽性（陽性率0.70%）が確認されている。